



# 図書館だより

2020.3月号

登美ヶ丘高校図書館発行

## 新着図書

## ミステリー特集



### 『ノースライト』横山秀夫著（新潮社）

一級建築士の青瀬は、信濃追分へ車を走らせていた。望まれて設計した新築の家。施主の一家も、新しい自宅を前に、あんなに喜んでいたので…。Y邸は無人だった。そこに越してきたはずの家族の姿はなく、電話機以外に家具もない。ただ一つ、浅間山を望むように置かれた「タウトの椅子」を除けば…。このY邸でいったい何が起きたのか？

（「BOOK」データベースより）

### 『むかしむかしあるところに、死体がありました。』青柳碧人著（双葉社）

鬼退治。桃太郎って…えっ、そうなの？大きなあれ。一寸法師が…ヤバすぎる！ここ掘れワンワン埋まっているのは…ええ！？昔ばなし×ミステリ。読めば必ず誰かに話したくなる、驚き連続の作品集！

（「BOOK」データベースより）



### 『ムゲンの i 上・下巻』知念実希人著（双葉社）

若き女医は不思議な出会いに導かれ、人智を超える奇病と事件に挑む—。夢幻の世界とそこに秘められた謎とは!?予測不可能な超大作ミステリー。

（「BOOK」データベースより）



### 『medium 霊媒探偵城塚翡翠』相沢沙呼著（講談社）

推理作家として難事件を解決してきた香月史郎は、心に傷を負った女性、城塚翡翠と出逢う。彼女は霊媒であり、死者の言葉を伝えることができる。しかし、そこに証拠能力はなく、香月は霊視と論理の力を組み合わせながら、事件に立ち向かわなくてはならない。一方、巷では姿なき連続殺人鬼が人々を脅かしていた。一切の証拠を残さない殺人鬼を追い詰めることができるとすれば、それは翡翠の力のみ。だが、殺人鬼の魔手は密かに彼女へと迫っていた—。

（「BOOK」データベースより）



### 『メインテーマは殺人』アンソニー・ホロヴィッツ著（創元推理文庫）

自らの葬儀の手配をしたまさにその日、資産家の老婦人は絞殺された。彼女は、自分が殺されると知っていたのか？作家のわたし、ホロヴィッツはドラマの脚本執筆で知りあった元刑事ホーソンから、この奇妙な事件を捜査する自分を本にしなないと誘われる…。自らをワトスン役に配した、謎解きの魅力全開の犯人当てミステリ！

（「BOOK」データベースより）

